

も く じ

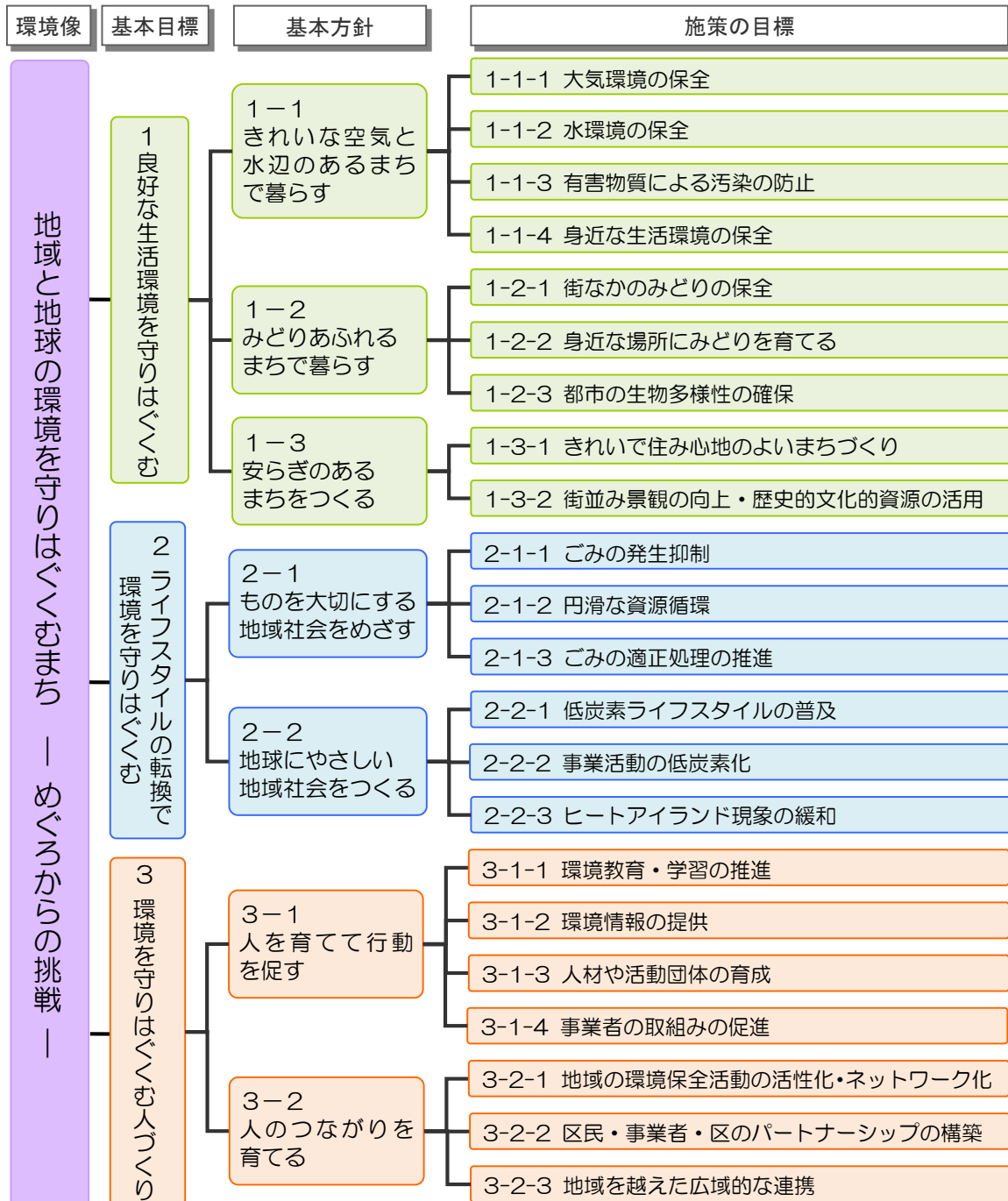
第1章	2014（平成26）年度の主な取組み	1
第2章	環境保全施策の推進	
基本目標1	良好な生活環境を守りはぐくむ	6
基本目標2	ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ	10
基本目標3	環境を守りはぐくむ人づくり	12
第3章	重点プロジェクトの実施	
テーマ1	地形・地勢を意識した風とみどりと生き物のネットワークづくり	14
テーマ2	節電からはじめるライフスタイルの転換	15
テーマ3	地球温暖化対策の推進	16
第4章	目黒区環境マネジメントシステムの取組み	17

■「めぐろの環境」は、目黒区環境基本条例第9条の規定に基づき、目黒区環境基本計画に基づく環境保全施策及び重点プロジェクトの実施状況等について明らかにし、広く区民の皆さんに公表する環境報告書です。

■2015（平成27）年度版「めぐろの環境」は、2012（平成24）年3月改定の環境基本計画に基づき、2014（平成26）年度に実施した環境保全施策をまとめた報告書です。

■本概要版は、「めぐろの環境」の本編をカラー版でわかりやすくまとめた冊子です。

<目黒区環境基本計画の体系図>



第1章 2014（平成26）年度の主な取組み

2014（平成26）年度に行った環境保全施策の中で、地球温暖化・省エネルギー対策の推進やみどりに関する多様な取組み、環境学習の推進、循環型社会の形成に関して、区の環境の現況や課題を踏まえ、特に力を入れたものについて報告します。

1 地球温暖化・省エネルギー対策の推進

（本編P.5）

地球温暖化は地球規模の問題ですが、一人ひとりが日常生活において環境にやさしい行動を実践していくことが重要です。

2014（平成26）年度は、「エコプロダクツ2014への出展」と「住宅用新エネルギー¹及び省エネルギー機器設置費助成」を行いました。

● エコプロダクツ2014へ出展しました

日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2014」が開催され、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」による出展ブースに、目黒区も参加しました。「ひと・まち・みどり」をテーマに、環境活動を行う区民・事業所や、区内のみどりのある風景などを紹介しました。2014（平成26）年度は、33自治体が出展し、3日間のアンケート回収数が3,400枚を超えるなど、来場者に好評をいただきました。

「エコプロダクツ2014」では、「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」のブースのほか、企業や大学が出展しており、環境への取組みやエコ製品の紹介などを行っていて、普段では得られない情報も盛りだくさんでした。

日時 2014（平成26）年12月11日（木）～13日（土）
10：00～18：00（最終日は17：00まで）

会場 東京ビッグサイト



<エコプロダクツ2014>

● 住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費を助成しました

本事業は環境負荷の少ないエネルギー利用を促進し、地球温暖化対策の推進を目的として行っています。二酸化炭素の排出量の削減に貢献する新エネルギー機器（太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム）や省エネルギー機器（CO₂冷媒ヒートポンプ給湯器）を設置する区民を対象に、設置経費の一部を助成しました。

<2014（平成26）年度実績>

助成対象機器	助成額	助成額の上限	申請件数	助成件数
太陽光発電システム	本体価格の 3分の1	10万円	59件 (85件)	56件 (75件)
家庭用燃料電池システム		5万円	47件 (65件)	46件 (46件)
CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器		3万2千円	16件 (5件)	16件 (3件)

()：2013（平成25）年度実績

¹ 新エネルギー：太陽光発電、風力発電等の自然エネルギーや廃棄物による発電など、石油代替エネルギーとなるもの。

2 みどりに関する多様な取組み

(本編P.6～7)

みどりは、ヒートアイランド現象の緩和、都市景観の向上、生物多様性の確保、都市防災への寄与などとともに、人々にうるおいと安らぎをあたえるなど、多様な効用をあわせもっています。

2014（平成26）年度は、桜の保全への取組みを周知するためシンポジウムを開催しました。また、みどりの基本計画改定の基礎資料とするため、みどりの実態調査を実施し、最新の緑被状況などを把握しました。

● サクラシンポジウムを開催しました

目黒区では桜の保全と再生に向けて2013（平成25）年度に目黒のサクラ基金を設立し、美しい桜のある風景を後世に伝えていくためにどのように取り組んで行くか、皆さまと一緒に考えるため2014（平成26）年度に目黒のサクラシンポジウムを開催いたしました。当日は70名の参加者が出席し、桜の保全事業の内容や目黒川の歴史、また樹木医と区民の桜保全活動の内容について講師からお話を伺いました。



<目黒のサクラ シンポジウムの様子①>



<目黒のサクラ シンポジウムの様子②>

● みどりの拠点となる公園の改良

区民の皆さまと検討会を行い、自由が丘公園、東根公園、大岡山児童遊園の改良工事を行いました。地域の皆さまのご意見を取り入れながら、遊具を取り替え、背のばしベンチを設置するなど、こどもたちがのびのびと遊び、地域の人が憩える明るい空間へとリニューアルしました。



<東根公園の複合遊具>

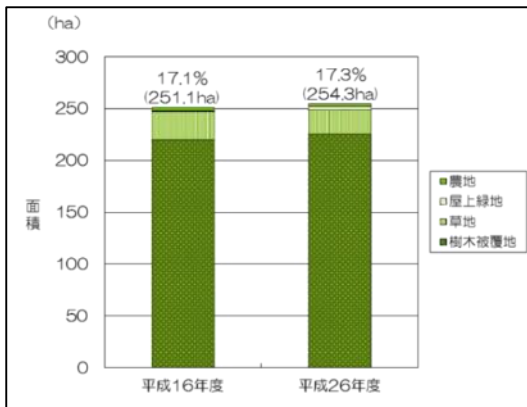


<背のばしベンチ>

● みどりの実態調査を実施しました

区内のみどりの現状と経年変化を把握するため、第6回となるみどりの実態調査を実施しました。区の緑被率（区を上空から見て、みどりで地上が覆われている面積の割合）は17.3%で、2004（平成16）年度に実施した前回の調査と比べて、0.2%増加しています（図1）。

しかし、区内の樹木の本数は前回（29,942本）より1,577本少なくなり、28,365本となっています（図2）。この10年間で樹木が成長したため、緑被率は増加していますが、樹木は減少傾向にあります。今後のまちのみどりを保全・創出していくためには、一人ひとりが身近にあるみどりを大切に守り、育てていかななくてはなりません。このほかにも、みどりの実態調査では、みどりが持つさまざまな機能の調査を行いました。



<図1 緑被率の推移>



<図2 樹木本数の推移>

● 生物多様性地域戦略の推進

2013（平成25）年度に策定した生物多様性地域戦略「ささえあう^{いのち}の^わ輪 野鳥のすめるまちづくり計画」では、区民、事業者、学校、行政等、様々な主体が連携して地域戦略を推進していくこととしています。2014（平成26）年度は、生物多様性の保全・回復に向けた東京都の補助事業「江戸のみどり復活事業」を活用し、生物多様性地域戦略で拠点的な緑地のひとつとして位置づけら



<東京大学で開催されたいきもの住民会議>

れた菅刈公園において、園内に昔から残る既存樹林の保全等のための在来動植物種の調査及び植栽計画作りを、地域住民を主体とするNPO法人と連携して実施しました。

また、東京大学駒場博物館の「日本の蝶」展に共催し、それに合わせたスタンプラリーを東京大学駒場博物館、駒場野公園自然観察舎、中目黒公園の活動団体や花とみどりの学習館との協働で行うとともに、活動団体や自然通信員等の研修・交流の場であるいきもの住民会議についても、東京大学との共催で実施しました。

● 身近なみどりの取組みへの支援を行いました

公園の清掃・花壇管理等の維持管理活動や、地域住民を対象としたイベントの企画運営を行うボランティア団体を公園活動登録団体として登録し、積極的に支援を行っています。2014（平成26）年度は17の団体が活動を行いました。



<グリーンクラブによる花壇の手入れ>

地球規模で起こっている環境問題は、日常生活と深くつながっています。環境問題を身近な問題として捉え、自分ができることをしていく人が増えていくことを目指して、環境推進員養成講座の開催と、“誰でも、楽しく、簡単にできる”エコな情報を発信するホームページの開設準備を行いました。

● 環境推進員（めぐろ環境ナビゲーター）養成講座（7期）の開催

2014（平成26）年度は、「地球温暖化ってなあに？なぜ今、異常気象なの？」をテーマに、全6回の連続講座を開催しました。講義に加え、フィールドワークやワークショップを取り入れた実践面を重視した内容で行い、講座終了後は新たに22人を環境推進員（環境ナビゲーター）として認定しました。

<環境推進員養成講座プログラム>

回	内容
第1回	講座案内、区の環境への取組み、受講に当たっての心構え、自己紹介と交流タイム
第2回	フィールドワーク「天空庭園から見る環境、目黒のマチュピチュ？」 講師 みどりと公園課職員
第3回	フィールドワーク「東工大でエコを考える」 講師 東京工業大学教授 神田学氏
第4回	ゼミナール「気候変動と身近な環境」 講師 東京工業大学教授 神田学氏
第5回	ワークショップ「グループで話す、考える」 講評 東京工業大学教授 神田学氏
第6回	ワークショップ「発表とまとめ」、修了証書授与 講評 東京工業大学教授 神田学氏



<フィールドワークの様子>



<ワークショップの様子>

● 新しいホームページ「めぐろスマートライフ」の開設準備

「目黒区環境基本計画（2012（平成24）年3月改定）」の重点プロジェクトの一つ「節電からはじめるライフスタイルの転換」について検討をすすめてきましたが、環境にやさしい行動を賢く選択する暮らし方を「めぐろスマートライフ」と名付け、新しいホームページを開設することとしました。2014（平成26）年度は、衣・食・住の専門家を招いてめぐろスマートライフ提案会議を設置し、2015（平成27）年4月からのホームページ開設に向けて、デザインや記事のテーマなど具体的な検討を行いました。

ホームページは、2015（平成27）年4月に開設しました。



ホームページアドレス <http://megurosmartlife.jp/>

目黒区では、「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の施行を受け、2014（平成26）年4月から、区内8施設で「使用済小型家電の拠点回収」を始めました。

● 使用済小型家電の拠点回収をしています

小型家電には貴重な資源（金・銀・銅・レアメタルなど）が含まれています。

目黒区では、ごみを減量するとともに、限りある資源を有効に活用するため、ご家庭に眠っている使用済小型家電のうち携帯電話・携帯音楽プレーヤー・携帯ゲーム機・デジタルカメラ・ポータブルビデオカメラ・ポータブルカーナビ・電子辞書・卓上計算機・コード類（ACアダプター）の9品目を拠点回収しました。

■ 区内8施設に回収ボックスを設置しました

目黒区総合庁舎西口・清掃事務所・清掃事業所（2階事務室で回収しています）

目黒区エコプラザ・北部地区サービス事務所・中央地区サービス事務所
南部地区サービス事務所・西部地区サービス事務所



<回収ボックス>

■ 使用済小型家電拠点回収の実施に向けた普及啓発活動を実施しました

使用済小型家電拠点回収について普及・啓発活動を行いました。2014（平成26）年11月の目黒区消費生活展・12月の「エコまつりめぐろ2014」では、使用済小型家電のイベント回収を実施し、40人の方々からご協力をいただきました。

また、町会等に使用済小型家電拠点回収開始のチラシの配布や目黒区総合庁舎内パネル展実施によって周知を図りました。



<消費生活展イベント>



<目黒区総合庁舎内パネル展>



<小型家電回収パンフレット>



■ 拠点回収実績（2014（平成26）年度）

期間	携帯電話	その他の小型家電等
2014（平成26）年4月から 2015（平成27）年3月まで	145kg	3,036kg